

平成30年度 生命環境学部 食保健学科  
推薦入試 小論文問題

【注意】

1. 机上に受験票を提示しておくこと。
2. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
3. 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
4. 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
5. この冊子は、問題（4ページ）および解答用紙（2枚）からなっている。
6. この冊子のうち、落丁・乱丁および印刷不鮮明な箇所があれば、手を挙げて申し出ること。
7. この問題の内容に関する質問には答えない。
8. 字数制限のある解答には、句読点やカッコ、数字はそれぞれ1字として数える。
9. 試験開始後60分を経過しないと退室できない。また、試験終了前10分間は退室できない。試験時間の途中で退室する時は、手を挙げて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子は持ち帰ること。

設問 I. 次の文章は、世界の糖尿病人口についての記述である。文章を読んで、以下の問に日本語で答えなさい。(50点)

(著作権の関係で掲載しておりません)

(Herman WH. Nutrition Reviews. Vol.75 (Supplement 1) p13-18. 2017 より抜粋 (一部改変))

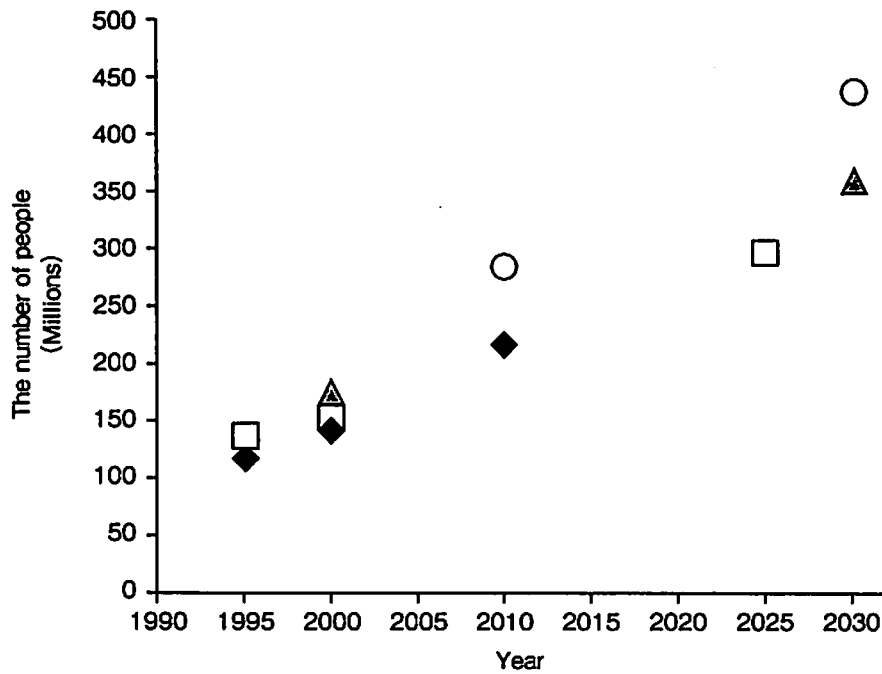


Fig. Global estimates and projections of the number of people with diabetes Reported in 1997(◆), 1998(□), 2004(▲) and 2010(○).

- 問1 1997, 1998, 2004年の報告における問題点を30字以内で答えなさい。(4点)
- 問2 2010年の報告では、以前とは異なる結果が発表された。この結果について、著者が述べている理由を100字以内で答えなさい。(18点)
- 問3 糖尿病人口の増大が、社会に及ぼす影響を30字以内で答えなさい。(4点)
- 問4 本文を参考にして、管理栄養士が実施すべき糖尿病対策を300字以内で述べなさい。(24点)

設問Ⅱ. 図1および図2は、農林水産省が、平成26年度に家庭における食品ロス統計調査を実施した結果である。また、平成26年の日本の総人口は、1億2,700万人で、国際連合世界食糧計画 WFP 協会（通称：国連 WFP 協会）による世界全体の食料援助量は、320万トン/年であった。以下の問に答えなさい。(50点)

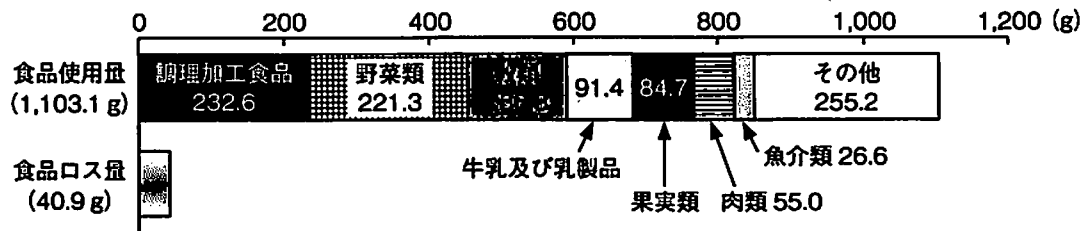


図 1-1 主な食品別の食品使用量及び食品ロス量（一人1日当たり）

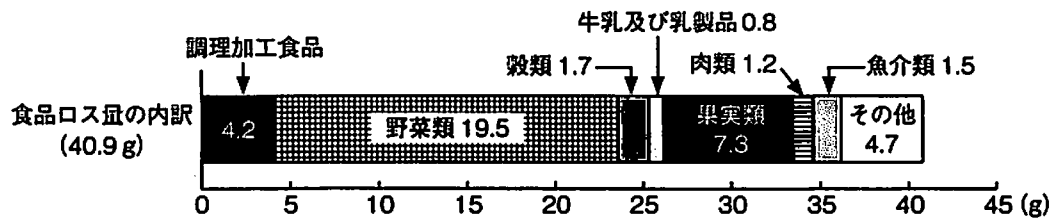


図 1-2 食品ロス量の内訳（一人1日当たり）

注：「食品使用量」とは、家庭における食事において、料理の食材として使用又はそのまま食べられるものとして提供された食品であって、魚の骨など通常食さない（食べられない）部分を除いた重量をいう。「その他」とは、「でんぷん」、「豆類」、「きのこ類」、「卵類」、「生鮮海草類」、「砂糖類」、「油脂類」、「調味料類」、「菓子類」及び「飲料類」を合計したもの。

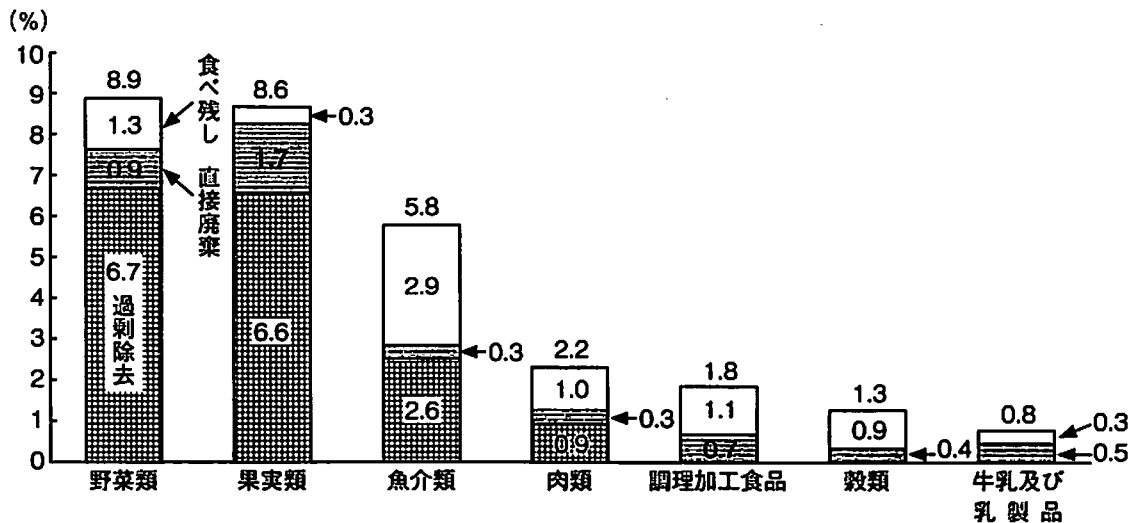


図2 主な食品別の食品ロス率

注：食品ロス率は以下のとおり算出した。

$$\text{食品ロス率} = \frac{\text{食品ロス量 (食べ残し重量 + 直接廃棄重量 + 過剰除去重量)}}{\text{食品使用量}} \times 100$$

「食べ残し」とは、家庭における食事において、使用・提供された食品のうち、食べ残して廃棄したものをいう。「直接廃棄」とは、家庭における食事において、賞味期限切れ等により料理の食材料またはそのまま食べられる食品として使用・提供されずにそのまま廃棄したものをいう。「過剰除去」とは、家庭における食事において、調理時に大根の皮の厚むきなど、不可食部分を除去する際に過剰に除去した可食部分をいう。

参考資料 農林水産省「食品ロス統計調査（世帯調査，平成26年度）」([http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuhin\\_loss/](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuhin_loss/))より抜粋（一部改変），国税調査人口（平成26年度）(<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2014np/>)，国際連合世界食糧計画 WFP 協会「数字で見る国連 WFP2014」(<http://ja.wfp.org/news/news-release/150930>)

問1 1年間の日本全体の家庭における食品ロス量を計算した上で、世界全体の食料援助量と比較しなさい（100字以内）。 (12点)

問2 一人当たり1年間（365日）に、野菜類で過剰除去した量，果実類で直接廃棄した量，魚介類で食べ残した量（kg）をそれぞれ示しなさい（有効数字2桁）。 (18点)

問3 家庭での食品ロスを減らすための具体的な対策を調理工程（購入時，保管時，調理時，喫食時）に沿って300字以内で述べなさい。 (20点)